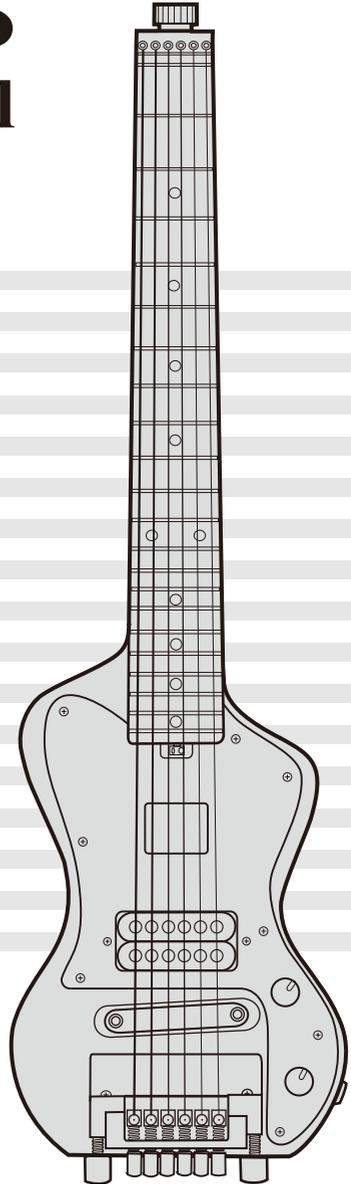
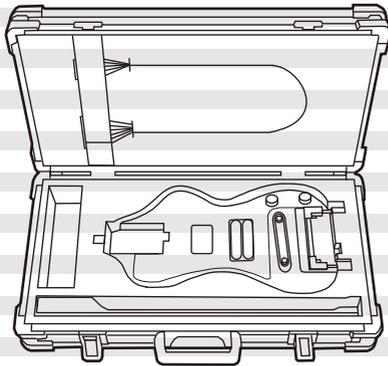




3 Divided Portable Electric Guitar **SGT-3DPEGS** Owner's Manual



SG Technologies, Inc.

Contents

①	使用上のご注意	1
②	保管、メンテナンス	1
③	ギターと付属品の確認	2
④	ギターの各部名称	3
⑤	ギターの組み立て	4
⑥	チューニング	5
⑦	弦ユニット、ネック、ボディの分離の仕方	6
⑧	弦交換の方法	7
⑨	ギターの各部調整方法	9
⑩	製品仕様	10 (裏表紙)

1 使用上のご注意

1-1. 改造・修理について

ギターの改造・修理は故障の原因となり、また感電の恐れもありますのでご注意ください。弊社以外での改造・修理は、たとえ部分的でありましてもギター全体が保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

1-2. ヘッド側の弦による怪我に注意

ヘッドに巻きつけた弦がカットされた後、適切な処理をされていない場合（例えば弦が長めにカットされ飛び出ているなど）、指に弦を刺すことがありますので取り扱い時には十分ご注意ください。

1-3. フレットのエッジによる怪我に注意

出荷時は、フレットのエッジを十分研磨してありますが、ネックのそりや乾燥状況によりフレットのエッジがはみ出る場合がありますので、怪我にご注意ください。

1-4. ギターの着脱は手順どおりに

特にネックとボディを連結している大型ボルト2本が、しっかり締まっている（組み立ての場合）ことを確認し、弦ユニットを装着してください。しっかり、締まっていない場合、弦ユニットによって怪我をする場合があります。

1-5. 推奨の弦は11-48

本ギターは出荷時に11-48弦がセットされています。最大12-50程度まで使用可能です。09-42や10-46なども可能ですがその場合テンションが弱まるのでチューニングキーを変えてください。

1-6. 湿気の多い場所での使用は避けてください

雨の日の屋外や風呂場での使用は行わないでください。ギターに使用されている精密金属パーツの狂いや、ギターアンプが故障していた場合、シールド線により感電する場合があります。

2 保管・メンテナンスについて

2-1. ギター全体について

ギターを持ち運ぶ以外は3分割せず、組みあがったままの状態にして置いてください。弦も緩める必要はありません（長期間使用しない場合は、弦を多少緩めてください）。ギターの清掃は市販のギターケア用品、例えばシリコンクロスなどで清掃してください。尚、ネックとボディのジョイント部は、夏季と冬季では、膨張や縮小しますので、ネックが多少ボディにはまりにくくなる場合があります。

（普通の保管は、湿度30～50%、温度20～30℃程度が望ましいです）

2-2. 精密金属部分について

マスターノブとファインチューニングノブには、ボルト部分に少量のグリスが塗布されています。経年変化でグリスが消耗しノブを回すときつい場合は、市販のグリスを少量、オスねじ側に塗布してください。

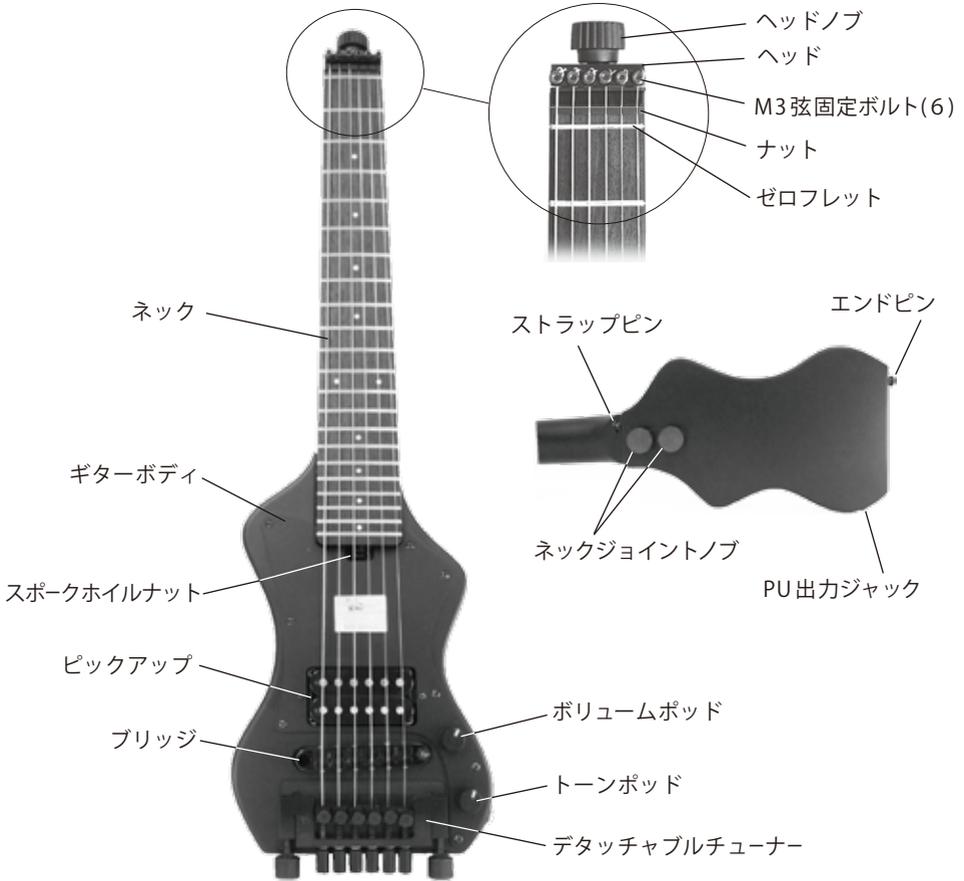
また、このノブ部分には、回転をスムーズにするため、特殊なワッシャーが使用されています。もし破損、磨耗等がありましたら弊社までご連絡ください。ワッシャーをお送りいたします。

3 ギターと付属品の確認

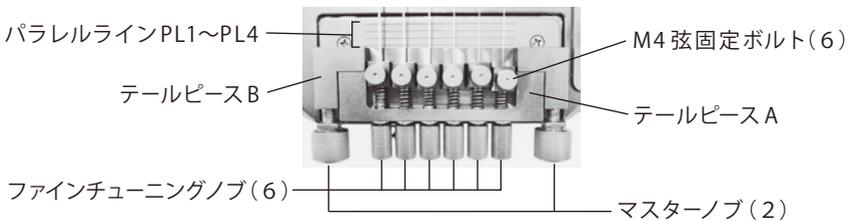
SGT-3DPEGS（ケース無 基本セットの場合）

- SGT-3DPEGS ギターボディ 1
- SGT-3DPEGS ギターネック 1
- SGT-3DPEGS 弦ユニット 1
- SGT-3DPEGS 専用ストラップ 1
- 六角レンチ (M3) 1
- スポークホイールナット用 レンチ 1
- SGT-3DPEGS オーナーズマニュアル 1
- 保証書 1

4 ギター各部の名称



デタッチャブルチューナー



* パラレルライン(PL)は、弦ユニットの着脱や弦交換時に目安とするテールピースBの位置決めラインで4本あります。上から順にPL1, PL2, PL3, PL4とします。PL2は弦ユニットの着脱、PL3は弦交換、プレイ可能位置は、PL3とPL4の間です。PL1は使用しません。

5 ギターの組み立て

(ハードケース付で購入の場合、または既に3分離してあるギターを組み立てる場合)

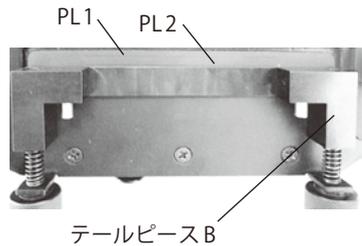
- 5-1. ボディとネックを取り出し、ボディの所定の位置にネックを装着し、ネックジョイントノブ(2本)でしっかり取付ける。この時、無理に力を入れる必要はなく、通常の大人が目いっぱい回せる程度で充分です。



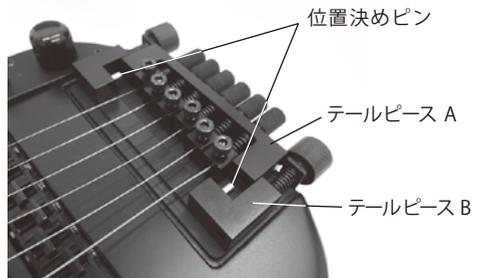
ネックが取り付けいたらギターをテーブルの上などに正面を上にし、置きます。



- 5-2. マスターノブを回し、平行ライン(PL)を見ながら、フロント側から2番目のライン(PL2)にテールピースBを合わせます。



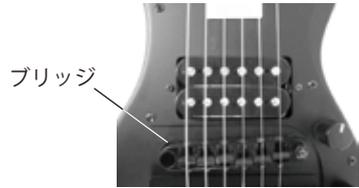
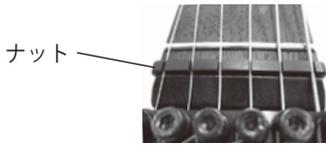
- 5-3. 弦ユニットのテールピースAをテールピースBの位置決めピン2本に合わせながら装着します。



- 5-4. ヘッドをネックに取り付けますが、この場合もヘッド側にある位置決めピンとボルトを所定の位置に合わせボルトを締めます。



- 5-5. 1弦から6弦までをブリッジやナットの所定の位置に合わせます。
これで装着は完了です。



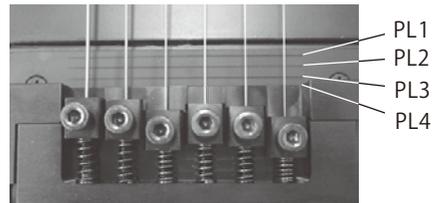
6 チューニング

ケーブル接続タイプのギター用チューナーをギターに接続しボリュームポッドを最大にして下さい。(ボディの振動を拾うタイプのチューナーは取り付け難いため、正確なチューニングが出来ない場合があります)



★ チューニングは5弦→4弦→3弦→2弦→1弦→6弦の順に行います。

- 6-1. 5弦のAから音を合わせます。マスターノブを回しながら、平行に後方(PL4側)に移動します。(この時マスターノブ2個を両手で同じくらい回すのがベターですが、片手で交互に行う場合は、1回に回す回数は2~3回ぐらいを交互に行いPLに平行になるよう注意を払いながら回してください)



- 6-2. 5弦Aが合ったら(テールピースBの位置はPL3とPL4の間位になるでしょう)次に4弦Dを合わせますが以後は全てファインチューニングノブであわせます。以下同様3G, 2B, 1E弦を合わせます。

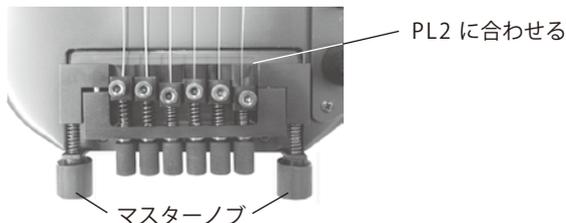
- 6-3. 最後に6弦のEチューニングを行います。

- 6-4. 再度5弦から1弦と6弦のファインチューニングを行って終了です。以後全体的にチューニングが高いまたは低い場合は、マスターノブで調整後ファインチューニングノブで再調整して下さい。

7 弦ユニット、ネック、ボディの分離の仕方

(専用ハードケースに収め持ち運ぶ時)

- 7-1. マスターノブを回しパラレルライン 2 (PL2) 付近にテールピースを移動します。
1 弦がゆるくなった時を目安としてください。(1 弦が最もテンションが強い)



- 7-2. ヘッドノブを回し、ヘッドをはずし、次にテールピース A をはずします。
これで弦ユニットは完全に分離されます。



- 7-3. 次にネックジョイントボルト 2 個を緩めてネックをボディからはずします。
以上で 3 分割されました。

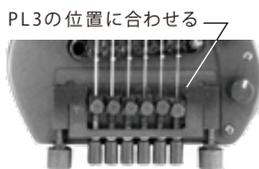


8 弦交換の方法

必要工具：ラジオペンチ、ニッパー (例として、2(B) 弦を交換します)

- 8-1. 弦の取り外し

- 1) 2 個のマスターノブを回しパラレルライン (PL) のフロントから 3 番目 (PL3) のラインにテールピース B を合わせます。

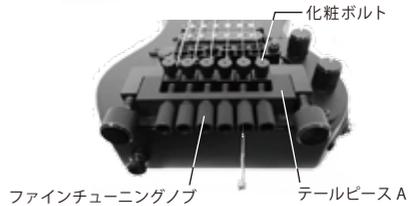


- 2) 交換する弦のヘッド側弦固定M3ボルトを緩め、弦をヘッドから抜きます。

(この場合、弦が丸まって引き出しにくい場合は、ラジオペンチなどで弦をまっすぐになるように調整して下さい)



- 3) 次にテールピースAの弦固定用化粧ボルトを緩め、ファインチューニングノブ側から弦を引き出します。



8-2. 弦の装着

弦11-48(推奨)を用意(本ギターは出荷時11-48弦がセットされています。最大12-50程度まで使用可能ですが、それ以上太い弦は使用しないでください)

- 1) テールピースAのファインチューニングノブ側から弦を入れます。



- 2) ヘッドに弦を挿入しますが、挿入しにくい場合はヘッドを一旦ネックから取り外してから弦を挿入し、再びネックに戻してください。



- 3) ヘッド側の弦を軽く引っ張りながら、弦固定ボルトに弦を巻きつけてM3六角レンチでボルトを締めます。この場合、弦はスプリングワッシャーと弦固定ボルトの頭との間に入れてください。



- 4) ニッパーで不要の弦を出来るだけ短くカットします。(長く残した場合、弦を指に突き刺さし怪我をする場合がありますのでご注意ください。)



- 5) 弦のたるみがない状態までマスターノブを少し回し、弦固定用化粧ボルトを締めます。この時、あまり強く締める必要はなく指で回せる程度に軽く締めます。これは弦ユニットをボディからはずした時、弦がテールピースAから抜けないようにするためのものです。以上で弦の装着は完了です。

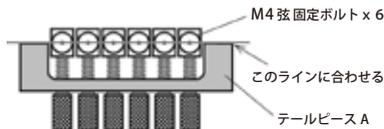
8-3. 6弦全交換の方法

[弦ユニットが本体に装着されている場合]

- 1) 2個のマスターノブを回しPL2からPL3あたりまで緩めます。(参考写真マニュアル7-1参照)
- 2) M4弦固定ボルト(テールピースAの弦固定ボルト)を半時計方向へ数回回し、弦が引き抜きやすいようにしておきます。
- 3) 弦を他に利用しない場合は、真ん中寄りでニッパーにより6弦全部切断します。
- 4) テールピースAの側の弦を全て抜きます。
- 5) ヘッド側の弦を六角レンチで緩めて取り外します。これで全ての弦を取り外しました。

[弦の装着]

- 1) テールピースAのM4弦固定ボルトの頭の中心点をテールピースAのエッジに合わせます。(6個のM4弦固定ボルトをテールピースAのエッジラインに合わせます)

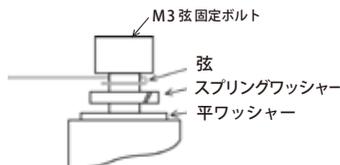


- 2) 弦をファインチューニングノブ側から挿入します。(この時、テールピースAは本体ボディからはずして弦を装着して構いません。参考写真：マニュアル8-2,1)
- 3) テールピースAに6弦全てを挿入したら、テールピースBに装着し、テールピースBを平行ライン3(PL3)辺りに合わせます(マニュアル8-1,1)参照)。

- 4) ヘッドの6個の穴に弦を通します。(この時、ヘッドはネックから取り外しておいたほうが作業がやりやすいです)

- 5) ヘッドをネックに装着します。

- 6) 6弦から順に弦をヘッドのM3弦固定ボルトに巻きつけ固定します。この時ボルトには上からスプリングワッシャーと平ワッシャーがありますが、弦はボルトの頭とスプリングワッシャーの間に入れてください。



注1) 弦は決して重ね巻きボルトで締めないでください。弦が切れやすくなります(特に1-3弦)



注2) 弦はボルトに対してはU字巻きつけとし、少し長めに切ってボルト間にラジオペンチかマイナスドライバのようなもので処理しましょう。(弦の切り口がヘッドの外側に出ていると手で触った時、怪我をする場合がありますので弦の切り口はきちんと処理しておきます)



注3) ヘッドのボルトを六角レンチで締める場合、弦のテンションはたるまない程度に軽く張った状態で六角レンチを回し固定してください。

7) 最後に6個のM4弦固定ボルトを指で軽くそれぞれ締めておきます。

注4) M4弦固定ボルトは弦ユニットを本体からはずした時に弦が抜けないように固定するためのボルトですから工具などできつく締めたりしないでください。

以上で6弦の装着が終了です。後はマニュアルの6.チューニングを参考にし、チューニングしてください。

9 ギターの各部調整方法

9-1. 弦高の調整

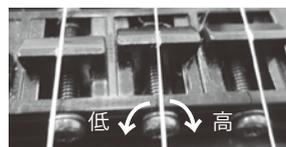
工場出荷時の弦高設定は1弦側約1.6 mm + α 、6弦側約1.9 mm + α ですが更に調整したい場合は、ブリッジの調整用丸ナットを指などで回し調整してください。ナットを時計回りに回すと弦高は低いほうへ、また反時計回りに回すと高いほうに調整可能です。(参考) 弦高調整用として1円玉(1.5 mm)、500円玉(1.8 mm)が目安として使えます。



弦高調整用丸ナット

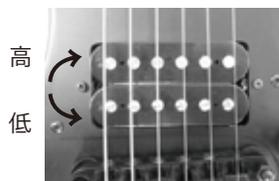
9-2. オクターブ調整

オクターブ調整は、開放弦と12フレットを押さえた時、同じチューニングとなるように調整することです。ギター用チューナーを見ながらブリッジのそれぞれの調整用ねじをテールピース側からプラスドライバーを回して調整します。ドライバーを時計方向に回すと高い音程に、反時計方向に回すと低い音程に調節できます。



9-3. ピックアップ高さの調整

フロントピックアップ又はリアピックアップは、プラスドライバーでピックアップの両側のねじを調整することにより、ピックアップを高くも低くも調整できます。ドライバーを時計方向に回すとピックアップは高くなり、反時計方向に回すと低くなります。



9-4. ネックのそりの調整

トラスロッドの調整はかなり熟練を要するため、自信のない方は、専門家の方にお問い合わせください。順ぞり方向に持って行くには、ギターを正面にし、スポークホイールナットを付属の専用レンチで反時計方向に回してください。回す角度は一度に大きく回さないでください。せいぜい5~10度程度づつすこしづつ回しながら調整して下さい。逆ぞり方向に持って行くには、スポークホイールナットを時計方向に同様に調整して下さい。



10 製品仕様

- ボディ : 栓
- ネック : メイプル
- 指板 : ローズウッド
- フレット数 : 22フレット (0フレットを含む)
- ネックスケール : 19.2インチ (487mm)
- 全長 : 602mm (突起部含む)
- アジャスタブルトラスロッド : スポークホイールナットタイプ
- ピックアップ : ハムバッカー×1
- ブリッジ : ゴトー GE-103B
- コントロール : 1ボリューム、1トーン
- フィニッシュ : つや消しブラック
- デタッチャブルチューナー : SGTオリジナル (PAT.6058304)
- 重さ : 約1.6 kg



株式会社 **エスジ-テクノロジ-ズ**

〒245-0051 横浜市戸塚区名瀬町 553

名瀬553ビル 3F

TEL 045-443-8601 FAX 045-443-8608

E-mail: sales@sgtech.jp URL: <http://sgtech.jp>